YASKAWA

決算補足説明資料

2025年度 第1四半期 業績概要

注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機（TSE6506）

（対象期間：2025年3月1日～2025年5月31日）

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

本日はお忙しい中、当社 決算オンライン説明会にご参加いただきありがとうございます。

それでは、2025年度 第1四半期の業績概要についてご説明いたします。

1ページにお進みください。

当決算におけるポイント（サマリー）

➢ 2025年度 第1四半期 実績

➔ **第1四半期 受注** … 前年同期比▲6%･前四半期比+1%
・前年同期比ではマイナスも、主要事業を中心に前四半期比では2四半期連続のプラス

➔ **売上収益** … 前年同期比▲5.1%
・受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収となったものの、受注の回復を確実に売上につなげ、想定通りに着地

➔ **営業利益** … 前年同期比▲5.5%
・売上収益の差異により減益も、各セグメントにおける付加価値の向上によって前年同期の営業利益率を維持

➔ **税引前利益** … 前年同期比▲20.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益 … 前年同期比▲24.4%
・営業利益の減少に加え、持分法投資損益等の影響により減益

➢ 2025年度 通期 見通し

・米国の関税政策の影響により需要の先行きに不透明感が高まったことから、通期見通しを下方修正

・想定為替レート（2025年6月1日～2026年2月28日）は前回計画から据え置き

・25年度の配当予想は4月4日公表時から変更なし（一株当たり年間配当68円）

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

当決算におけるサマリーです。
詳しくはこの後にご説明いたします。

それでは、5ページにお進みください。

目次

1. 2025年度 第1四半期 連結業績

- 2025年度 第1四半期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2025年度 第1四半期における取組み

2. 2025年度 通期 連結業績見通し

- 2025年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析

3. 参考資料

- 設備投資･研究開発費,為替レート･感応度
- Ｂ/Ｓ構造の推移
- 売上収益･営業利益推移
- 四半期売上収益推移
- 四半期受注推移

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】
- ACサーボドライブ、コントローラ
- リニアサーボ
- インバータ
- 太陽光発電用パワーコンディショナ
- PMモータ

など

ACサーボモータ
Σ-Xシリーズ

新マシンコントローラ
「MPX1000シリーズ」

YRMコントローラ
「YRM1010」

安川インバータGA700シリーズ

太陽光発電用
パワーコンディショナ
Enewell-SOL P3A 25kW

ロボット

【主要製品】
- 産業用ロボット
  - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
  - ハンドリング用途向け
- 半導体製造装置用ロボット
- バイオメディカル用途向けロボット
- 人協働ロボット
- 自律ロボット

など

MOTOMAN NEXTシリーズ

人協働ロボット
MOTOMAN-HC30PL

7軸アーク溶接ロボット
MOTOMAN-AR1440E

システム エンジニアリング

【主要製品】
- 鉄鋼プラント用電気システム
- 上下水道用電気計装システム

など

鉄鋼プラント用
電気システム

上下水道用電気
計装システム

その他

- 物流サービス

など

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

YASKAWA

1．2025年度 第1四半期 連結業績

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

2025年度 第1四半期 実績

- **受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収となったものの、受注の回復を確実に売上につなげ、想定通りに着地**
- **営業利益は売上収益の差異により減益も、各セグメントにおける付加価値の向上によって前年同期の営業利益率を維持**

	2025年度 1Q 実績	2024年度 1Q 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上収益	1,256億円	1,324億円	▲68億円	▲5.1%
営業利益	105億円	111億円	▲6億円	▲5.5%
税引前利益	98億円	123億円	▲25億円	▲20.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	70億円	92億円	▲22億円	▲24.4%

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

第1四半期の実績です。

当期の経営環境は、米国の関税政策などにより
総じて不透明感が高まる状況となりましたが、
国内の半導体・電子部品市場などをはじめとする需要は底堅く推移しました。

このような中、当社グループの業績については、
受注残の正常化を進めた前年同期に比べ、売上収益は減少しましたが、
受注の回復を確実に売上につなげたことで想定通りの着地となりました。

利益面については売上収益の差異により減益となりましたが、
各セグメントにおける付加価値の向上によって前年同期の営業利益率を維持しました。

売上収益は前年同期比5.1%減の1,256億円、
営業利益は5.5%減の105億円、
税引前利益は20.1%減の98億円、
四半期利益は24.4%減の70億円です。

それでは、次の6ページにお進みください。

2025年度 第1四半期 実績（セグメント別）

- モーションコントロールは、受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収となったものの、日米の需要を確実に捉え、想定通りに着地
- ロボットは、為替の影響により減収も、生産稼働率の改善や内製化の効果などにより増益
- システムエンジニアリングは、減収減益も鉄鋼プラント関連の販売増加により採算性が改善

（単位：億円）	2025年度 1Q 実績	2025年度 1Q 利益率	2024年度 1Q 実績	2024年度 1Q 利益率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上収益	**1,256**		1,324		**▲68**	**▲5.1%**
モーションコントロール	**557**		594		**▲37**	**▲6.2%**
ロボット	**556**		570		**▲14**	**▲2.5%**
システムエンジニアリング	**93**		105		**▲12**	**▲11.6%**
その他	**51**		55		**▲4**	**▲7.8%**
営業利益	**105**	**8.4%**	111	8.4%	**▲6**	**▲5.5%**
モーションコントロール	**50**	**9.1%**	56	9.5%	**▲6**	**▲10.5%**
ロボット	**50**	**9.0%**	48	8.4%	**+2**	**+4.5%**
システムエンジニアリング	**10**	**11.1%**	11	10.1%	**▲0**	**▲2.5%**
その他	**4**	**7.5%**	2	4.5%	**+1**	**+53.0%**
消去または全社	**▲10**	-	▲6	-	**▲3**	**-**

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

セグメント別の業績です。

モーションコントロールは、受注残の正常化を進めた前年同期に比べ減収となったものの、
日米の需要を確実に捉え、想定通りの着地となりました。

ロボットは、為替の影響により減収となりましたが、
生産稼働率の改善や内製化の効果などにより、増益となりました。

システムエンジニアリングは減収減益となりましたが、鉄鋼プラント関連の販売増加により
採算性が改善しました。

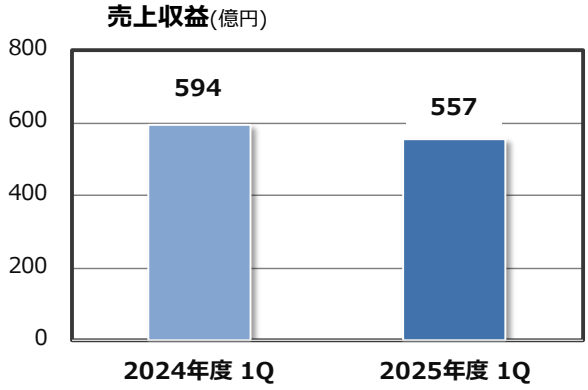
なお、“売上収益における為替の影響”は全社でマイナス43億円でした。

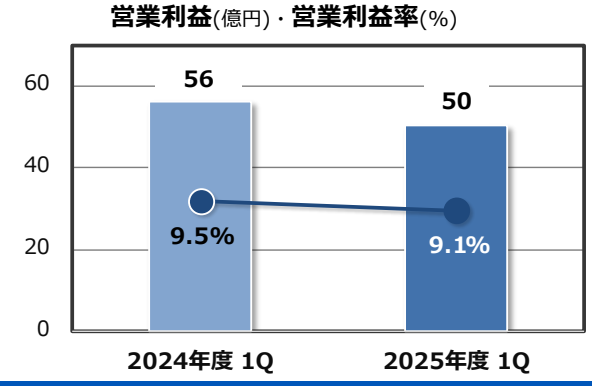
内訳として、モーションコントロールでマイナス20億円、
ロボットでマイナス22億円、
システムエンジニアリング・その他はともにマイナス0億円です。

続いて、各セグメントの詳細についてご説明いたします。

次の7ページへお進み下さい。

主要事業の概要 モーションコントロール

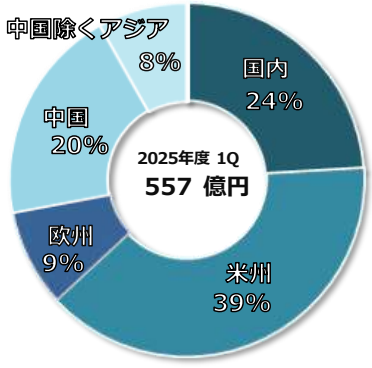




【売上収益】
- ACサーボは日本において半導体・電子部品市場向けの販売が増加したものの、全体では微増
- インバータは受注残の影響により前年同期比で減収。オイル価格低下の影響による米国オイル・ガス関連の投資延期の影響を受けるも、ほぼ想定通りに着地

【営業利益】
- 付加価値の改善や間接費の抑制などがプラスに寄与も、売上減少に伴う利益減の影響により減益

所在地別売上収益構成比



© 2025 YASKAWA Electric Corporation

モーションコントロールの状況です。
売上収益は、前年同期比6.2%減の557億円、
営業利益は10.5%減の50億円となりました。

なお、25年度 第1四半期におけるACサーボとインバータの売上収益の比率は、
ACサーボが50%、インバータが50%です。

ACサーボは、日本において半導体・電子部品市場向けの販売が増加したものの、
全体の売上収益は微増となりました。

インバータは、受注残の影響により前年同期比で減収となりました。
オイル価格低下の影響による米国オイル・ガス関連の投資延期の影響を受けましたが、
ほぼ想定通りの着地となりました。

利益面については、付加価値の改善や間接費の抑制などがプラスに寄与しましたが、
売上減少に伴う利益減の影響により減益となりました。

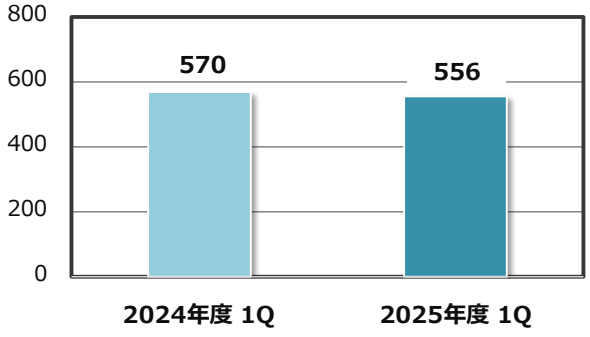
これらの結果、営業利益率は9.1%となりました。

ご参考として、25年度 第1四半期の所在地別 売上収益 構成比の内訳についてお伝えします。
ACサーボは、
　国内30%、米州28%、欧州9%、中国26%、中国除くアジア7%です。
インバータは、
　国内18%、米州50%、欧州9%、中国14%、中国除くアジア9%です。

それでは、次の8ページにお進みください。

主要事業の概要 ロボット

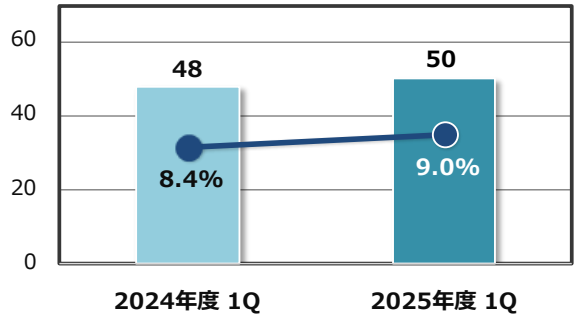
売上収益(億円)



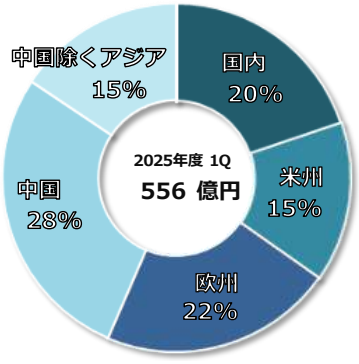
【売上収益】
- 為替の影響により減収も、自動化需要をグローバルで確実に捉え、堅調に推移
- 韓国などの自動車市場における大口案件や、日本の一般産業分野の売上増加が寄与

【営業利益】
- 生産稼働率の改善や内製化の効果などにより増益

営業利益(億円)・**営業利益率**(%)



所在地別売上収益構成比



© 2025 YASKAWA Electric Corporation

ロボットの状況です。

売上収益は、前年同期比2.5%減の556億円、
営業利益は、4.5%増の50億円となりました。

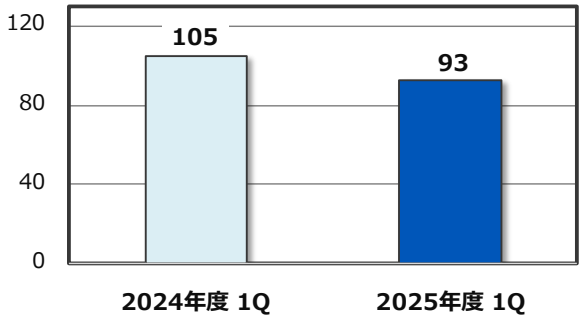
為替の影響により減収となりましたが、自動化需要をグローバルで確実に捉え、
売上収益は堅調に推移しました。
韓国などの自動車市場における大口案件や、日本の一般産業分野の売上増加が
寄与しました。

利益面については、生産稼働率の改善や内製化の効果などにより増益となり、
営業利益率は9.0%となりました。

それでは、次の9ページにお進みください。

主要事業の概要 システムエンジニアリング

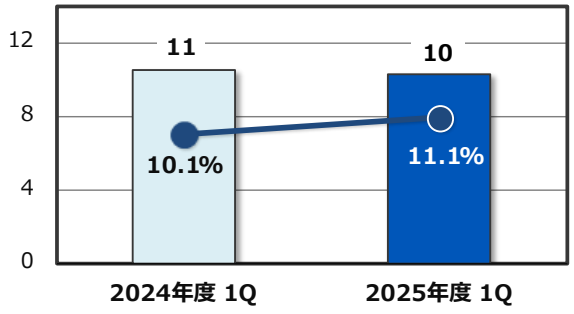
売上収益(億円)



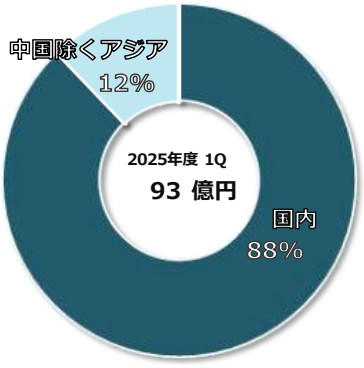
【売上収益】
- 鉄鋼プラント関連の販売が堅調に推移も、上下水道用電気システムおよび港湾クレーン関連の販売が減少し、減収

【営業利益】
- 鉄鋼プラント関連の販売増加により採算性は改善も、売上減少に伴う利益減の影響により微減

営業利益(億円)・**営業利益率**(%)



所在地別売上収益構成比



© 2025 YASKAWA Electric Corporation

システムエンジニアリングの状況です。

売上収益は、前年同期比11.6%減の93億円、
営業利益は、2.5%減の10億円となりました。

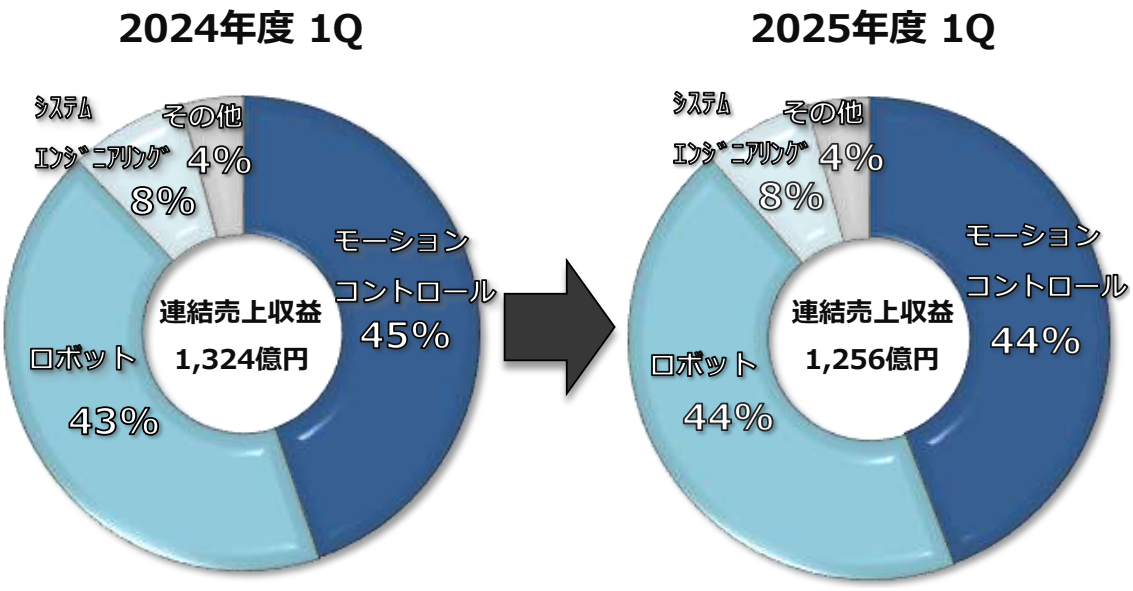
鉄鋼プラント関連の販売が堅調に推移しましたが、上下水道用電気システムおよび港湾クレーン関連の販売が減少し、売上収益は前年同期比で減少しました。

利益面については、鉄鋼プラント関連の販売増加により採算性が改善したものの、売上減少に伴う利益減の影響により、営業利益は微減となりました。

これらの結果、営業利益率は約1ポイント改善し、11.1%となりました。

それでは、次の10ページにお進みください。

事業セグメント別売上収益構成比



© 2025 YASKAWA Electric Corporation

セグメント別の売上収益 構成比です。

前年同期に対し、モーションコントロールが1ポイント減少した一方、
ロボットが1ポイント増加しました。

これらの結果、ロボットの構成比がモーションコントロールと同率になり、
モーションコントロール・ロボットともに44%となりました。

また、システムエンジニアリングの構成比は8%となっております。

それでは、次の11ページにお進みください。

所在地別売上収益

・日本以外の地域は減収

（単位：億円）	2025年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上収益	**1,256**	1,324	**▲68**	**▲5.1%**
国内	**370**	358	**+13**	**+3.5%**
海外	**886**	966	**▲80**	**▲8.3%**
米州	**302**	333	**▲32**	**▲9.5%**
欧州	**170**	178	**▲7**	**▲4.1%**
中国	**271**	297	**▲26**	**▲8.8%**
中国除くアジア	**143**	158	**▲15**	**▲9.6%**

[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

所在地別の売上収益です。
日本以外の地域は減収となりました。

地域別の状況ですが、
国内については、半導体・電子部品関連の需要は底堅く推移し、一般産業においても堅調な需要が見られました。一方で、自動車市場では設備投資が伸び悩みました。

米州では、自動車市場において米国関税の影響による先行き不透明感が強まっており、オイル・ガス関連需要も原油価格下落の影響を受けました。また、半導体市場では在庫調整の影響が見られたものの、空調関連や一般産業における自動化需要は堅調に推移しました。

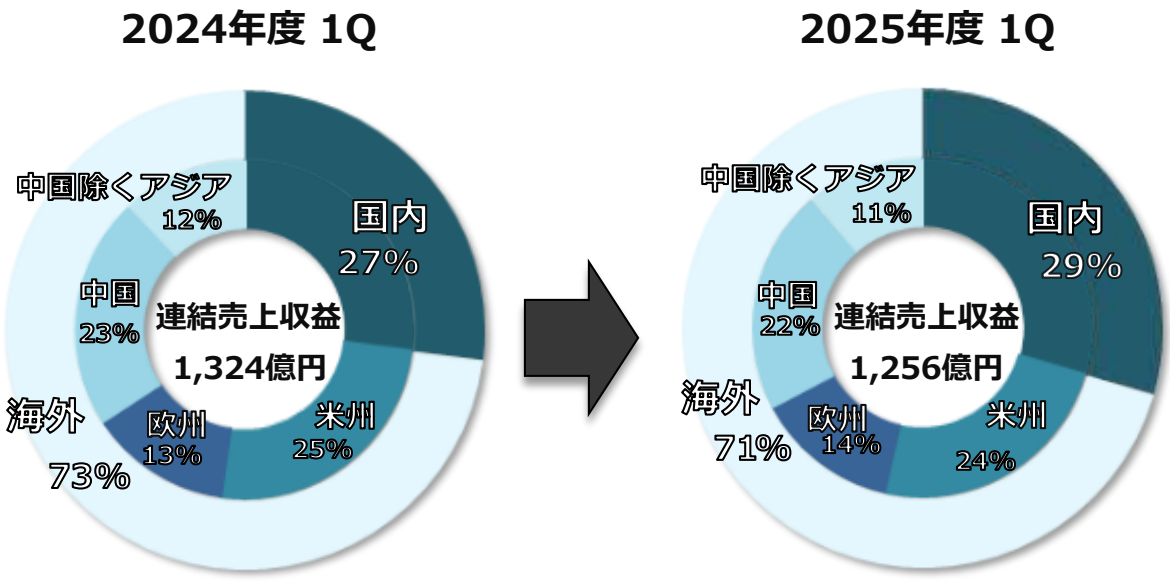
欧州については、製造業全般における需要は低調に推移し、自動車関連の需要も米国関税などの影響を受けました。

中国では、自動車市場における需要は底堅く推移したものの、米国関税の影響により投資案件の延期や見直しの動きが見られました。

中国除くアジアについては、韓国において半導体関連の需要が伸び悩む一方、自動車関連の需要は堅調に推移しました。アセアン各国では、米国関税の影響を受けインフラ関連の需要は鈍化傾向となりました。

それでは、次の12ページにお進みください。

所在地別売上収益構成比



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

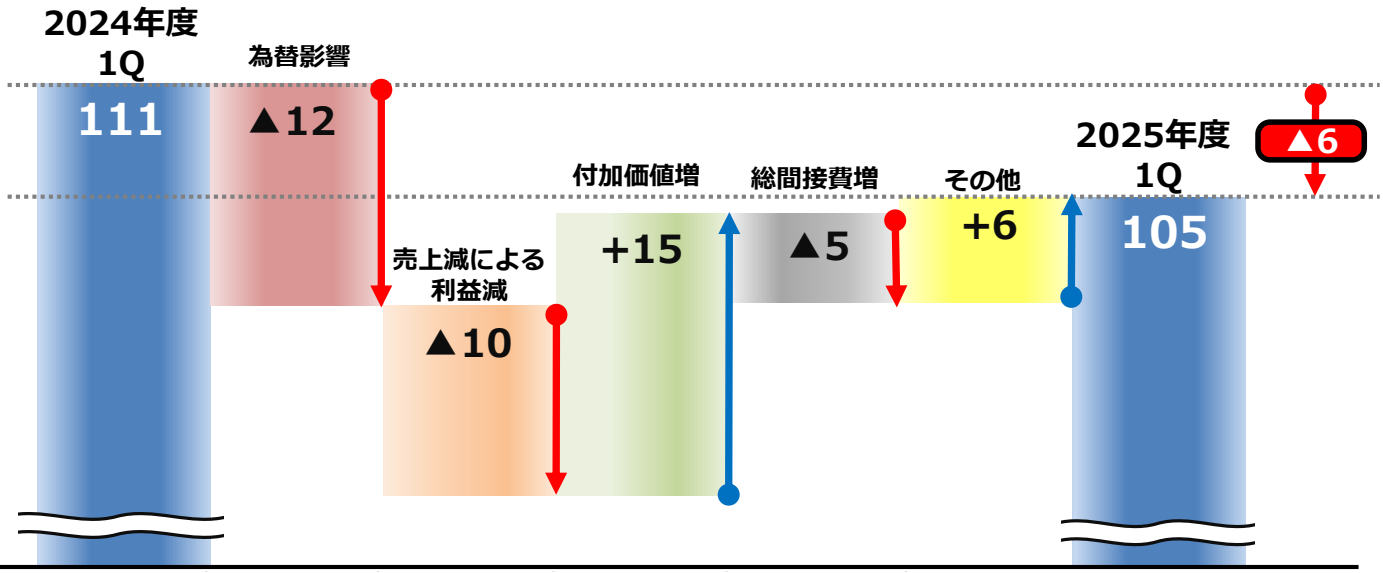
所在地別の売上収益 構成比は、
国内が前年同期から2ポイント増加し29%に、
海外は2ポイント減少し71%になりました。

海外の内訳として、米州・中国および中国除くアジアがそれぞれ１ポイント減少した一方で、
欧州が1ポイント増加しました。

それでは、次の13ページにお進みください。

営業利益増減要因分析（2024年度1Q ➔ 2025年度1Q）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	▲ 5	▲ 9	＋ 3	＋ 4	＋ 1
ロボット	▲ 7	＋ 4	＋ 5	▲ 3	＋ 3
システムエンジニアリング	▲ 0	▲ 5	＋ 5	▲ 0	▲ 0
その他	▲ 0	▲ 0	＋ 2	▲ 6	＋ 2

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

営業利益の増減要因分析です。

当期の営業利益は、前年同期の111億円から6億円減少し、105億円となりました。

為替による影響は、ドルをはじめいくつかの通貨が円高に推移したことから、マイナス12億円。

売上減による利益減については、ロボットは増加したものの、
モーションコントロール・システムエンジニアリングの減少が影響し、マイナス10億円。

付加価値の増加はプラス15億円。関税コストが数億円発生したものの、ACサーボ・ロボットが
4月から開始した価格転嫁によりその一部を補い、マイナス影響は限定的でした。
なおインバータについても7月から価格転嫁を開始いたします。

また、想定の範囲内ではありますが、棚卸評価損がマイナスに影響した一方、
モーションコントロール・ロボットともに中国・アメリカなどでの付加価値改善がプラスに寄与しました。

総間接費の増加による影響はマイナス5億円。
欧州などでの人員削減効果や開発費の見直し効果がプラス影響となりましたが、
賃金の改善などにより労務費が増加しました。

最後の「その他」はプラス6億円です。
中国子会社の本部移転に伴う一時的な利益などが発生しました。

それでは、次の14ページにお進みください。

2025年度 第1四半期における取組み

“i³-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

開発力の強化

- 「MOTOMAN NEXT」の市場導入に向けたお客さまとの共同開発を推進(ニップン様、サクラ精機様など)

生産力の強化

- 米国(ウィスコンシン州フランクリン市)にて本社･技術開発拠点･産業用ロボットの生産工場等を集約した新キャンパス設立を発表(2025年6月16日)

新設する米国本社の外観イメージ

販売力の強化

- 欧州や一部アジア地域での拡販に向け、ACサーボドライブ“Σ-Xシリーズ”の400V入力仕様の製品を販売開始
- 重量化・密集化する自動車製造工程に対応する新型多用途適用型ロボットMOTOMAN-GP280L/GP360を販売開始
- 関西地区に点在していたサービス・教育施設を集約し、関西支店を新設

MOTOMAN NEXTによる食品盛付けのデモ

メカトロニクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

- 「FOOMA JAPAN 2025」に出展し、MOTOMAN NEXTや食品仕様ロボットを活用した食の安全・安定供給を支援するソリューションを訴求

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

25年度 第1四半期における取り組みです。

開発面ではMOTOMAN NEXTの市場導入に向け、お客さまと共同開発を進めています。
各種国内展示会にて、ニップン様が食品関連、サクラ精機様が医療関連の分野にて
MOTOMAN NEXTを活用したデモ展示を行いました。

生産面においては、米国ウィスコンシン州フランクリン市に、本社、技術開発拠点、
産業用ロボットの生産工場などを集約した新キャンパスを設立することを発表しました。

販売面では、電源電圧が400Ｖとなっている欧州や一部アジア地域での拡販を目的に、
ACサーボドライブ“Σ-Xシリーズ”の400V入力仕様の製品を販売開始しました。

また、自動車の電動化により重量化・密集化が進む製造工程に対応するロボットとして、
MOTOMAN-GP280LとGP360の販売も開始しています。

さらに、国内の関西地区において点在していたサービス・教育施設を集約する関西支店を
新設しました。機能の統合により、営業とサービスの連携強化を図ります。

メカトロニクス応用領域の事業拡大については、
「FOOMA JAPAN2025」への出展を通じて、MOTOMAN NEXTや食品仕様ロボットの
活用による、人手不足や食品の安全・安定供給、フードロス削減といった
「食品製造現場の課題」を解決する様々なソリューションを訴求しました。

それでは16ページにお進みください。

YASKAWA

2. 2025年度 通期 連結業績見通し

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

2025年度 通期 見通し

・米国の関税政策の影響により需要の先行きに不透明感が高まったことから、通期見通し（2025年4月4日公表）を下方修正

	2025年度 見通し	2024年度 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2025年度 前回見通し※
売上収益	5,150億円	5,377億円	▲227億円	▲4.2%	5,500億円
営業利益	430億円	502億円	▲72億円	▲14.3%	600億円
税引前利益	455億円	785億円	▲330億円	▲42.0%	630億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	330億円	570億円	▲240億円	▲42.1%	465億円

※2025年4月4日 FY24 4Q決算発表時

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

2025年度 通期の業績見通しです。

米国の関税政策の影響により需要の先行きに不透明感が高まったことから、
2025年4月4日に公表しました通期見通しを下方修正いたします。

売上収益は5,500億円から5,150億円に、
営業利益は600億円から430億円に、
税引前利益は630億円から455億円に、
当期利益は465億円から330億円に、
それぞれ修正いたします。

なお、米国の関税政策による直接のコスト増加影響を通期でマイナス65億円と想定しますが、
その全額をサーチャージによる価格転嫁によって補う計画です。

また、25年第2四半期から第4四半期までの期間における平均為替レートについては、
4月4日に公表しました想定レートから変更なく、
ドルは145円、ユーロは160円、元は20円、韓国ウォンは0.11円といたします。

続いて、次の17ページにお進みください。

2025年度 通期 見通し（セグメント別）

（単位：億円）	2025年度 見通し	2025年度 利益率	2024年度 実績	2024年度 利益率	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	2025年度 前回見通し※	2025年度 利益率
売上収益	**5,150**		5,377		**▲227**	**▲4.2%**	5,500	
モーションコントロール	**2,265**		2,388		**▲122**	**▲5.1%**	2,415	
ロボット	**2,327**		2,374		**▲47**	**▲2.0%**	2,475	
システムエンジニアリング	**371**		384		**▲13**	**▲3.3%**	380	
その他	**187**		232		**▲44**	**▲19.1%**	230	
営業利益	**430**	**8.3%**	502	9.3%	**▲72**	**▲14.3%**	600	10.9%
モーションコントロール	**214**	**9.5%**	230	9.6%	**▲16**	**▲6.8%**	286	11.8%
ロボット	**213**	**9.2%**	238	10.0%	**▲24**	**▲10.1%**	310	12.5%
システムエンジニアリング	**40**	**10.8%**	46	12.0%	**▲6**	**▲13.2%**	45	11.8%
その他	**10**	**5.3%**	16	6.9%	**▲6**	**▲37.2%**	10	4.3%
消去または全社	**▲48**	**-**	▲28	-	**▲20**	**-**	▲ 51	-

※2025年4月4日 FY24 4Q決算発表時

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

セグメント別の通期見通しです。

米国の関税影響によって、お客さまの計画している投資タイミングが一部延期されることを想定し、需要が減少する間接的な影響をリスクとして最大限織り込みました。

考え方として、従来想定していた第2四半期以降の未受注売上分について
ACサーボの約2割、インバータの約1割、ロボットの約1割を、新たなリスクとして想定し、
通期の見通しを下方修正しています。

モーションコントロールの売上収益は、前回予想の2,415億円から2,265億円に、
営業利益は、286億円から214億円に、

ロボットの売上収益は、2,475億円から2,327億円に、
営業利益は、310億円から213億円に、

システムエンジニアリングの売上収益は、380億円から371億円に、
営業利益は、45億円から40億円に、

それぞれ修正します。

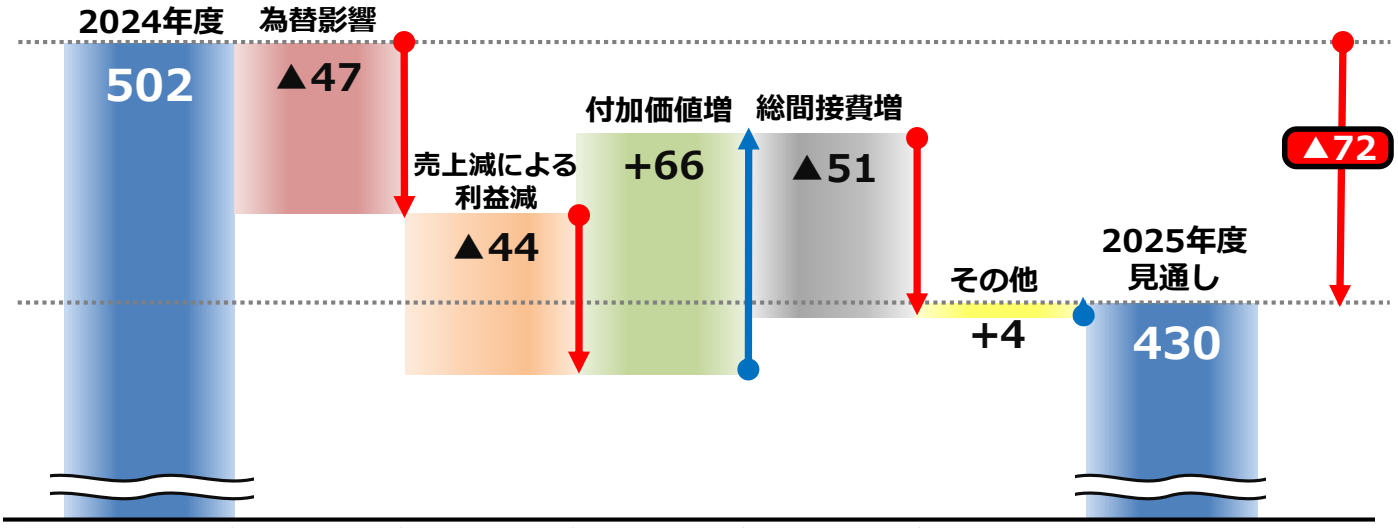
なお、“売上収益における為替の影響”は全社でマイナス163億円と想定します。

内訳として、モーションコントロールでマイナス83億円、ロボットでマイナス78億円、
システムエンジニアリング・その他はともにマイナス1億円です。

それでは、次の18ページにお進みください。

営業利益増減要因分析（2024年度 ➔ 2025年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	▲ 24	▲ 45	＋ 57	▲ 6	＋ 2
ロボット	▲ 23	＋ 11	＋ 6	▲ 17	▲ 1
システムエンジニアリング	▲ 0	▲ 6	＋ 2	▲ 2	＋ 0
その他	▲ 0	▲ 4	＋ 2	▲ 26	＋ 3

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

通期見通しにおける営業利益増減要因分析です。

2025年度の営業利益は、前年度の502億円から72億円減少の
430億円を計画します。

為替による影響は、引き続き円高の影響を想定しマイナス47億円。

売上減による利益減は、モーションコントロールを中心にマイナス44億円。

付加価値の増加はプラス66億円。
主な内訳として、モーションコントロールの新製品切り替え効果や、
モーションコントロールとロボットにおける部品の内製化効果などに加え、
前年度に発生した棚卸評価損をなくすこともプラスに寄与する想定です。

総間接費の増加は、マイナス51億円。
活動費の抑制を徹底する一方、賃金改善による労務費の増加や減価償却費などの
投資コストの増加を織り込みます。

最後の「その他」はプラス4億円。
前期に発生した欧州事業再編に係るコストが無くなる影響がプラスとなる一方、
中国における構造改革費用や補助金収入の剥落によるマイナス影響等を含めています。

それでは、25ページにお進みください。

3. 参考資料

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

設備投資･研究開発費, 為替レート･感応度

設備投資･研究開発費の状況

（単位：億円）

	2023年度（実績）	2024年度（実績）	2025年度（計画）
設備投資額	378.6	406.7	550.0
減価償却費	208.0	208.0	220.0
研究開発投資	212.5	237.8	250.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

（単位：円）

	2023年度（実績）			2024年度（実績）			2025年度（想定）		
	1Q	上期	通期	1Q	上期	通期	1Q(実績)	上期	通期
対　米ドル	134.9	138.8	143.2	153.2	153.7	152.7	146.2	145.6	145.3
対　ユーロ	146.1	151.0	155.1	165.5	166.6	164.0	162.0	161.0	160.5
対　元	19.46	19.61	20.02	21.16	21.23	21.12	20.13	20.07	20.03
対　ウォン	0.102	0.106	0.109	0.113	0.113	0.111	0.102	0.106	0.108

為替感応度

（単位：億円）

	1％変動による影響額目安（2025年度_通期）	
	売上収益	営業利益
米ドル	12.7	3.2
ユーロ	6.6	1.0
元	11.0	3.0
ウォン	3.6	1.6

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

B/S構造の推移

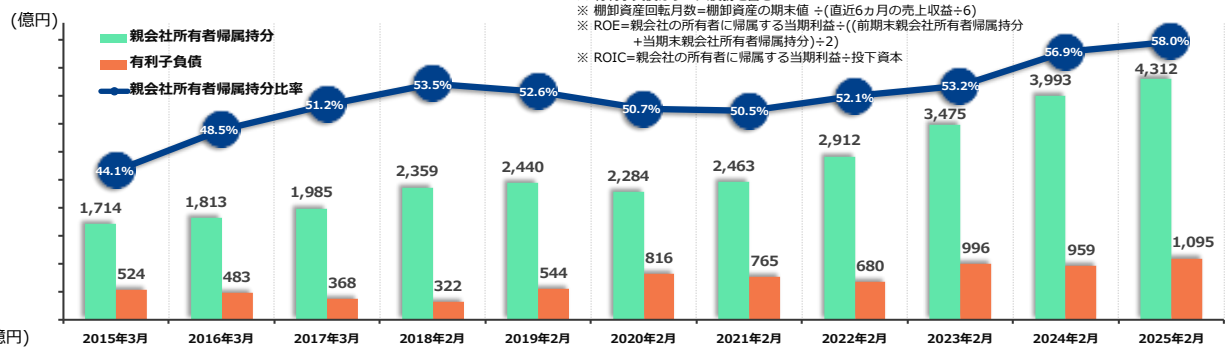
2025年2月28日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 58.0%
- 親会社所有者帰属持分 4,312億円
- 有利子負債 1,095億円
  （現金及び現金同等物） 590億円
- D/Eレシオ 0.25
  （ネットD/Eレシオ） 0.12
- 棚卸資産 2,063億円
  （回転月数） （4.5ヶ月）
- ROE 13.7%
- ROIC 12.2%

2025年5月31日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 56.8%
- 親会社所有者帰属持分 4,255億円
- 有利子負債 1,203億円
  （現金及び現金同等物） 653億円
- D/Eレシオ 0.28
  （ネットD/Eレシオ） 0.13
- 棚卸資産 2,126億円
  （回転月数） （4.7ヶ月）

※ 有利子負債はリース債務を含む
※ 棚卸資産回転月数=棚卸資産の期末値 ÷(直近6ヵ月の売上収益÷6)
※ ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益÷((前期末親会社所有者帰属持分＋当期末親会社所有者帰属持分)÷2)
※ ROIC=親会社の所有者に帰属する当期利益÷投下資本



(億円)

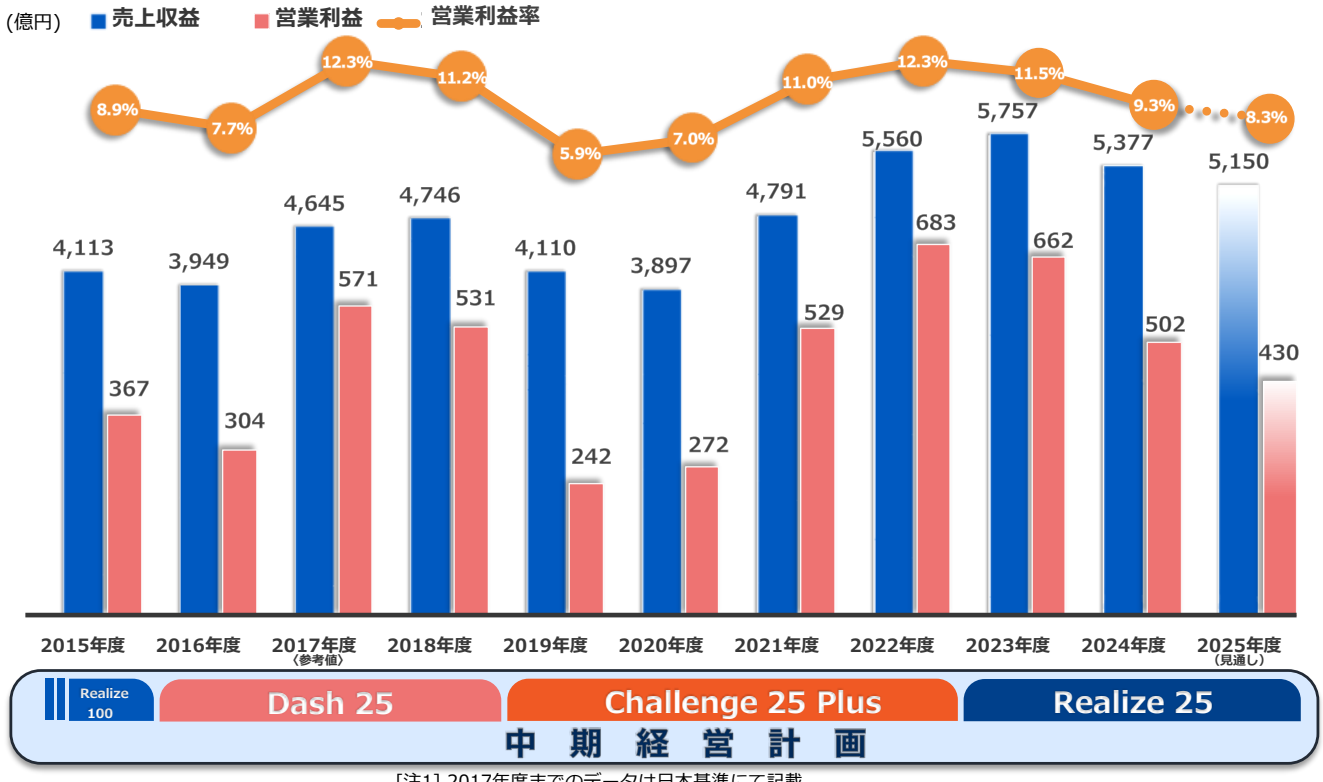
	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月	2019年2月	2020年2月	2021年2月	2022年2月	2023年2月	2024年2月	2025年2月
営業CF	290	320	338	461	343	215	396	492	▲ 22	546	565
投資CF	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 206	▲ 96	▲ 242	▲ 197	▲ 293	▲ 213
フリーCF	**11**	**95**	**148**	**272**	**72**	**8**	**300**	**251**	**▲ 219**	**253**	**352**

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

売上収益･営業利益推移（2015年度～2025年度見通し）

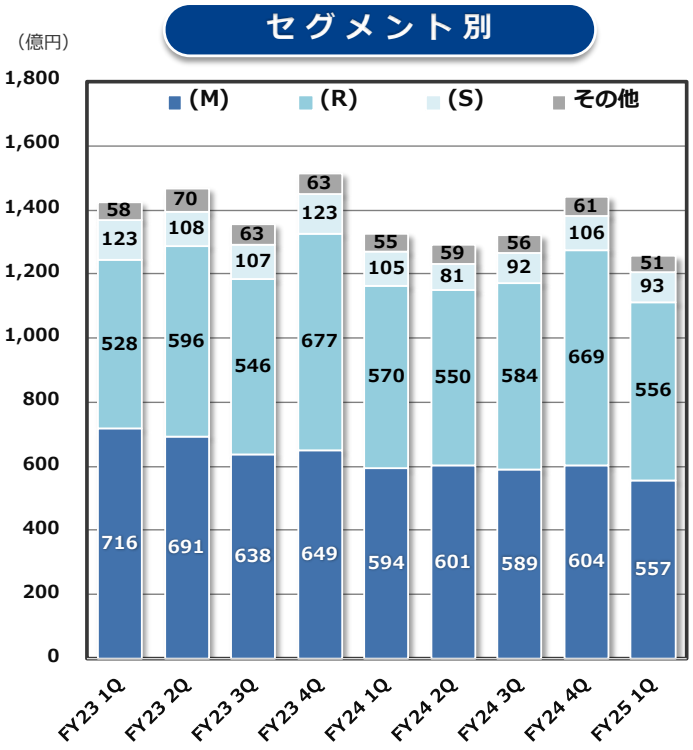


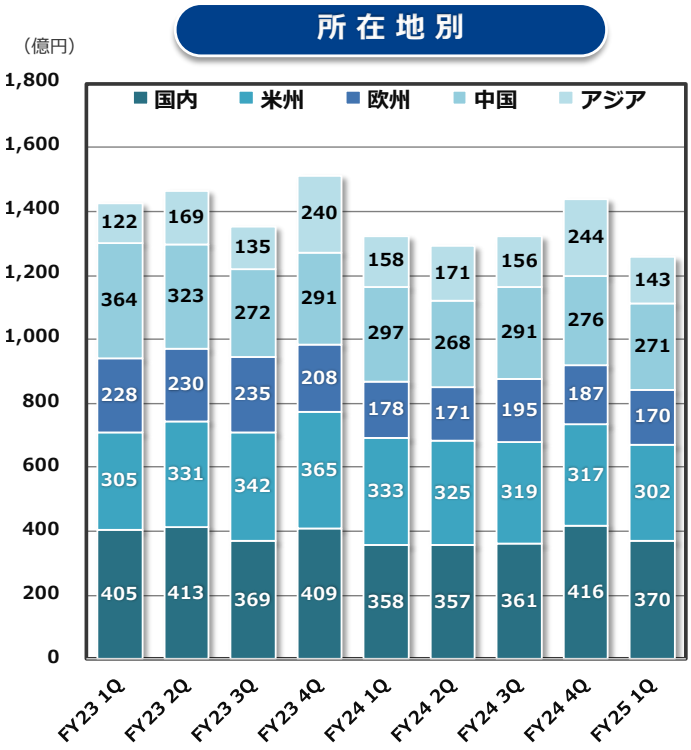
[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

四半期売上収益推移





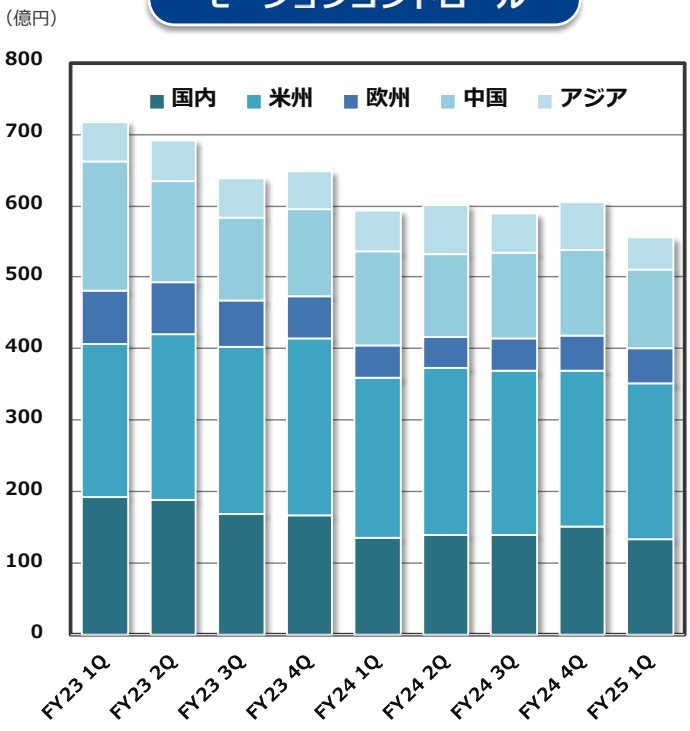
[注]　表記：（M）＝ モーションコントロール，（R）＝ ロボット，（S）＝システムエンジニアリング

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

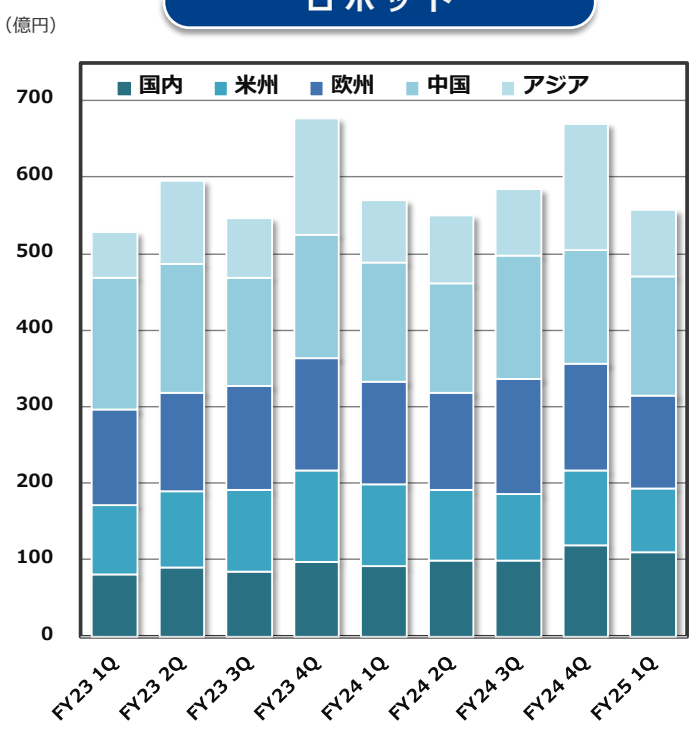
＜スキップ＞

四半期売上収益推移

モーションコントロール



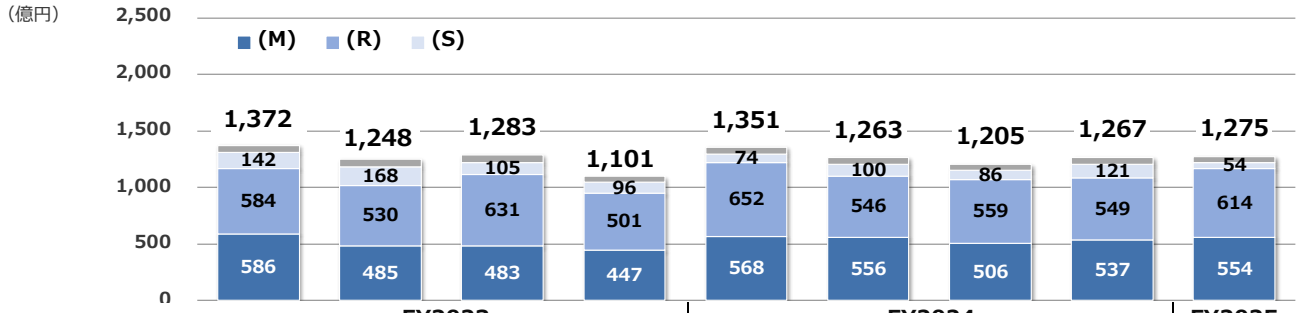
ロボット



© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞

四半期受注推移（セグメント別） ※為替は期中平均レートを使用



		FY2023 1Q	FY2023 2Q	FY2023 3Q	FY2023 4Q	FY2024 1Q	FY2024 2Q	FY2024 3Q	FY2024 4Q	FY2025 1Q
全社	YoY	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%
	QoQ	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%
YoY	(M)	▲27%	▲38%	▲19%	▲16%	▲3%	+15%	+5%	+20%	▲2%
	(R)	▲10%	▲15%	▲6%	▲8%	+12%	+3%	▲11%	+10%	▲6%
	(S)	▲11%	▲1%	▲48%	▲27%	▲48%	▲40%	▲18%	+26%	▲27%
QoQ	(M)	+9%	▲17%	▲0%	▲7%	+27%	▲2%	▲9%	+6%	+3%
	(R)	+7%	▲9%	+19%	▲21%	+30%	▲16%	+2%	▲2%	+12%
	(S)	+8%	+19%	▲37%	▲9%	▲23%	+36%	▲14%	+41%	▲55%
為替レート	円/ドル	134.9	142.5	149.1	146.7	153.2	154.1	149.1	154.1	146.2
	円/ユーロ	146.1	155.7	159.3	159.4	165.5	167.6	162.1	160.6	162.0

[注] 表記：（M）= モーションコントロール，（R）= ロボット，（S）=システムエンジニアリング

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

参考情報として開示しております四半期連結受注推移について、
2025年度 第1四半期のセグメントごとの地域別増減率を次の通りお伝えします。

ACサーボのYoYは全体で▲2%です。
内訳は、国内+29%、米州▲16%、欧州+49%、中国▲10%、その他アジア▲38%です。

QoQは全体で▲4%です。
内訳は、国内▲3%、米州▲7%、欧州+20%、中国▲3%、その他アジア▲20%です。

インバータのYoYは全体で▲3%です。
内訳は、国内+7%、米州+9%、欧州+19%、中国▲30%、その他アジア▲32%です。

QoQは全体で+11%です。
内訳は、国内+14%、米州+6%、欧州+73%、中国+12%、その他アジア▲2%です。

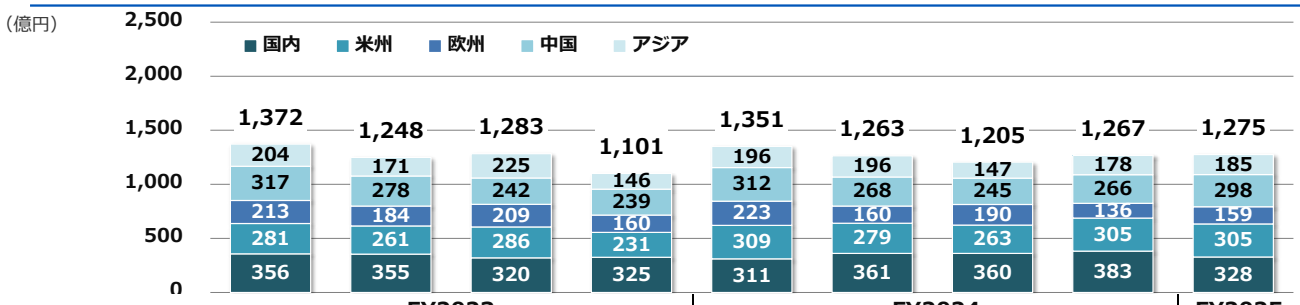
ロボットのYoYは全体で▲6%です。
内訳は、国内+10%、米州▲2%、欧州▲42%、中国+8%、その他アジア+18%です。

QoQは全体で+12%です。
内訳として、国内▲3%、米州▲3%、欧州+8%、中国+21%、その他アジア+30%です。

それでは、次の26ページにお進みください。

四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2023				FY2024				FY2025
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
Total	YoY	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%	▲6%
	QoQ	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%	+1%
YoY	国内	▲23%	▲31%	▲26%	▲11%	▲13%	+2%	+13%	+18%	+6%
	米州	▲19%	▲30%	▲12%	▲23%	+10%	+7%	▲8%	+32%	▲1%
	欧州	▲13%	▲2%	▲21%	▲28%	+5%	▲13%	▲9%	▲15%	▲29%
	中国	▲27%	▲26%	▲41%	+3%	▲1%	▲3%	+1%	+11%	▲5%
	アジア	+10%	▲20%	+72%	▲2%	▲4%	+14%	▲34%	+22%	▲6%
QoQ	国内	▲3%	▲0%	▲10%	+2%	▲5%	+16%	▲0%	+6%	▲14%
	米州	▲6%	▲7%	+10%	▲19%	+34%	▲10%	▲6%	+16%	+0%
	欧州	▲4%	▲13%	+14%	▲24%	+40%	▲28%	+19%	▲28%	+17%
	中国	+37%	▲12%	▲13%	▲1%	+30%	▲14%	▲9%	+9%	+12%
	アジア	+37%	▲16%	+31%	▲35%	+34%	▲0%	▲25%	+21%	+4%

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

所在地別の受注推移です。
数字はご覧の通りです。

なお、最後になりますが、配当につきましては、期初発表時の内容から変更はありません。

中間配当は1株につき34円、期末配当についても1株につき34円を予定しています。

これにより、年間の配当は、前年度から据え置きとなる68円を予定しています。

以上をもちまして、2025年度 第1四半期の業績概要の説明を終わります。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

YASKAWA

© 2025 YASKAWA Electric Corporation

＜スキップ＞